

都市にひそむ ミエナイモノ展

Invisibles in the Neo City

このまちにいる
無数のミエナイモノたちの
声を聞く——
未来への想像をひろげる
体験型の展覧会



Creators

菅野創+
加藤明洋+
綿貫岳海

gluon

+3D Digital Archive Project

Qosmo

佐藤朋子

セマーン・ペトラ

Tomo Kihara
& Playfool

長谷川愛

藤倉麻子

3D Digital Archive Project

2023.12.15金 →

2024.3.10日

SusHi Tech Square 1F Space

入場無料

[特別展示]
島田清夏・平野真美
(東京藝術大学大学院
美術研究科
先端芸術表現専攻
八谷和彦研究室)

[関連展示]
東京のミエナイモノ

主催 東京都
休業日 月曜日(ただし1月8日、2月12日は開場)
年末年始(12月29日~1月3日)
1月9日、1月24日、2月13日
開場時間 平日 11:00~21:00(最終入場 20:30)
土休日 10:00~19:00(最終入場 18:30)

SusHi Tech Square 1F
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-8-3
(東京交通会館向かい)

sushitech-real.metro.tokyo.lg.jp/second/



アートを通じて思考を自由に！ みんなで未来を想像するスペース

都市にひそむ ミエナイモノ展

Invisibles in the Neo City

2023.12.15金 → 2024.3.10日

まちなかのなんの変哲もない景色が、ある人にとっては愛する物語の「聖地」になる。多くの人が行き交う都市には、人の数だけ異なる景色が存在します。もちろん、都市にいるのは人だけではありません。虫、植物、AI、ロボット——それぞれの目から見つめる都市の姿は、どんな風にうつるのでしょう？

自分だけが感じる愛着、何かがいそうな気配、ふと発見した小さなできごと。本展では、都市のなかで目には見えないものが喚起される現象に着目し、8組のアーティストによる、「ミエナイモノ」たちが未来の都市への想像をかきたてる作品を展開。そこでは、AIや人工生命の目から見た景色や、100年後の人類が暮らす都市の姿が登場します。

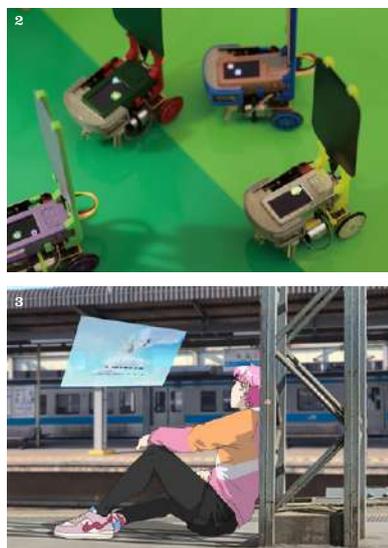
あなたも、自分だけのミエナイモノを発見してみませんか？

本展キュレーター・塚田有那

クリエイターたちが問いかける、未来の都市像



1 Tomo Kihara & Playfool(How (not) to get hit by a self-driving car)2023
2 菅野創+加藤明洋+綿貫岳海(かぞくうち)2022 Photo: Ioto Yamaguchi
3 セマーン・ペトラ(About their distance)2023



Creators

菅野創+
加藤明洋+
綿貫岳海

gluon
+3D Digital Archive Project

Qosmo

佐藤朋子

セマーン・ペトラ

Tomo Kihara
& Playfool

長谷川愛

藤倉麻子

[特別展示] 島田清夏・平野真美
(東京藝術大学大学院 美術研究科 先端芸術表現専攻 八谷和彦研究室)

大人も子どもも遊んで、
話して、考える
みんなの
「プレイグラウンド」



プレイグラウンドは、だれもが思い思いに過ごせる自由な空間。いろんな本やおもちゃにふれたり、会場に常駐しているアートコミュニケーターと話したり。頭をやわらかくしながら未来への想像をふくらませてみませんか。展示のガイドツアーも毎日実施。さらに週末には多彩なイベントを開催します。

スタンプラリー 東京のミエナイモノ

1400万人以上の人々が暮らす大都市・東京。多くの人々の安全で快適な暮らしを、東京都の様々なアイデアとテクノロジーが支えています。会場に点在するスタンプラリーとプレイグラウンドでの資料展示を通じて、「東京のミエナイモノ」を見つけてください。

SusHi Tech Square

1F 都市にひそむミエナイモノ展

Instagram @sushitech_space

#ミエナイモノ展 で投稿！

公式サイト

<https://sushitech-real.metro.tokyo.lg.jp/second/>

同時開催



東京2020開会式等で実際に使用された衣装の展示や、eスケートパーク、サイバーボッチャ、フォースポットをお楽しみいただけます。



東京は日本でも有数の多様な自然環境がある場所です。様々なデジタル技術を用いた体験型展示を通して、東京の自然や生きものの多様性を紹介します。

2-3F Tokyo Innovation Base

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-8-3
(東京交通会館向かい)

- ・JR山手線・京浜東北線「有楽町駅」下車[京橋口]徒歩1分
- ・東京メトロ有楽町線「有楽町駅」下車[D9出口]すぐ
- ・東京メトロ有楽町線「銀座一丁目駅」下車[1出口]徒歩3分



Art as Catalyst

創造性を触発するアーティストたち

2023.12.15 FRI ————— 12.24 SUN
SusHi Tech Square 〈1F Space〉 入場無料

2022年に人々のための新しい創造拠点「シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]」が渋谷に生まれました。クリエイティブ×テクノロジーで東京をより良い都市に変えることを目指し、そのためのアイデアを人々と共に創り出しています。

「Art as Catalyst — 創造性を触発するアーティストたち」は、CCBTのパートナーであり世界的なクリエイティブ機関であるアルスエレクトロニカに見られるシビック・クリエイティブなプロジェクトを紹介する「Ars Electronica Inspiration」と、日本で活躍するクリエイティブ×スタートアップのプレイヤーたちによるトークセッションを通して、アートとイノベーションの関係を探ります。

アーティストが触媒となって生まれたマテリアルやテクノロジーのイノベーションは、ファッションナブルでありながら、多様な人々と共にある持続的な未来の姿を私たちに提案します。

人々の創造性を社会に発揮するシビック・クリエイティビティはどのようなものでしょうか。イノベーションを加速させるアートの役割とは。社会のための経済のサイクルはどのように創り出せるのか。

持続可能な未来を共に考え想像するこの場所から、これからのシビック・クリエイティビティを探究します。

開場時間：平日11:00~21:00 (最終入場20:30) / 土日10:00~19:00 (最終入場18:30) 休館日：2023年12月18日(月) 主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 事業連携：アルスエレクトロニカ 後援：オーストリア文化フォーラム東京、日本経済新聞社

<https://ccbt.jp/>



EXHIBITION エキシビション

作品展示「Ars Electronica Inspiration」



ARTIST

Yuima Nakazato / 中里唯馬

ファッションデザイナー。1985年、東京生まれ。2009年、自身のブランドYUIMA NAKAZATOを設立。2016年よりパリ・オートクチュール・ファッションウィークにて公式ゲストデザイナーとしてコレクションを発表している。ベルギーアントワープ王立芸術アカデミーで修士号を取得。卒業コレクションでヨーロッパの数々の賞を受賞。

WORK

Biosmocking / バイオスマッキング

バイオスマッキングは、YUIMA NAKAZATOのために特別に設計されたBrewed Protein™素材の超収縮(形状変容)する特性を、デジタルファブリケーションにより精密にコントロールすることで、衣服に全く新しい奥行きをもたらすことを可能にする、3次元のテクスチャーを生み出すテキスタイル技術である。度重なる試行とファブリケーション技術によって製造プロセスが飛躍的に進化した結果、表面に3次元のテクスチャーを作り出すだけでなく、生地自体を自由に変形させられるようになった。この技術を用いれば、生地を無駄にすることなく、各個人に合わせた衣服を製造できる。



ARTIST

Anouk Wipprecht / アヌーク・ヴィブレヒト

オランダを拠点とするハイテク・ファッションデザイナー、イノベーター。ファッションデザイン、エンジニアリング、サイエンス、そしてインタラクション/ユーザーエクスペリエンス・デザインが融合する新興分野「ファッション・テック」で活動する。斬新な方法でファッションとテクノロジーを組み合わせ、テクノロジーを駆使したデザインの数々で注目を集める。それらは人工知能につながるシステムを身体の周りに搭載した、テクノロジー・クチュールといえる。

WORK

SCREENDRESS / スクリーンドレス

スクリーンが埋め込まれたこの3Dプリントドレスは、着用者と周囲の環境との間にテクノロジーが媒介するつながりを生じさせる。g.tec社との共同開発による先進的なEEG(脳波)センサー「ユニコーン・ヘッドバンド」が、ウェアラブルなブレイン・コンピューター・インターフェースとして、着用者の脳が無意識に出す信号を読み取り、スクリーンドレスを動作させる。機械学習を利用し、着用者の心理的負荷を計測して、ドレスの首飾りから伸びる6枚の円形スクリーンに視覚化する。心理的負荷が強まると、スクリーンに映し出される瞳孔が拡張していき、不思議な効果を生み出す。

「Ars Electronica Inspiration」プランニングチーム

小川秀明 (CCBTクリエイティブディレクター / アルスエレクトロニカ・フューチャーラボ共同代表)

久納鏡子 (アルスエレクトロニカ・アンバサダー)

Denise Hirtenfelder (アルスエレクトロニカ・フューチャーラボ リサーチャー)

〈アクセス〉

SusHi Tech Square 〈1F Space〉

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-8-3

JR山手線・京浜東北線「有楽町駅」下車 [京橋口] 徒歩1分
東京メトロ有楽町線「有楽町駅」下車 [D9出口] すぐ
東京メトロ有楽町線「銀座一丁目駅」下車 [1出口] 徒歩3分

※東京交通会館向かいの赤い屋根が目印の建物です。
※駐車場はございません。近隣の有料駐車場をご利用ください。



〈注意事項〉

※出演者やプログラム内容は予告なく変更になる場合があります。
※会場内ではオフィシャルカメラマン及び取材メディアによる写真及び映像撮影が行われます。
お客様が映り込む可能性がありますので、予めご了承ください。

〈お問い合わせ〉

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 活動支援部 デジタルクリエイティブ推進課
03-6261-5420 (平日10:00~17:00 ※土日祝除く) / digital-creativity@artscouncil-tokyo.jp

WORKSHOP ワークショップ

イノベーションを触発するカードゲームや創造性を刺激するものづくりワークショップを開催します。

参加無料 / 事前申込制 公式ウェブサイト <https://ccbtx.jp/> よりお申し込みください。

Bridge2040 / ブリッジ2040

ブリッジ2040は、未来への架け橋として短時間で楽しめるカードゲームです。参加者は、2040年に生きる多様な登場人物にまつわるイノベティブな物語を作り、語り合います。そこでは、社会、経済、テクノロジー、都市計画、気候変動、健康などに関するさまざまな変化や疑問、アート作品に向き合うことになります。このゲームは異なる世代のコミュニケーションのために開発されました。今回はさらに進化し、会期中にイノベーター・ワークショップとして日本で初公開されます。



開催日時: 12月15日(金) 19:00-20:15

参加資格: 高校生以上

ファシリテーター: Denise Hirtenfelder (アルスエレクトロニカ・フューチャーラボリサーチャー)、久納鏡子 (アルスエレクトロニカ・アンバサダー)

定員: 20名 申込期日: 12月13日(水)

アナログゲームを作ってあそぼう

木、紙、布、革、プラスチックなどの墨田区の町工場で使われている素材に、みんなの自由な発想をかけ合わせ、世界に一つだけのゲーム作りにチャレンジしよう! 迷路、陣取り、記憶、推理、パズル、バトル、バランス...世の中には色々なテーマのアナログ(卓上)ゲームがあり、今でも次々と新しいゲームが生み出されています。そんなアナログゲーム作りを通じて、調査、分析、アイデア出し、試作といった、創作に大切な作業を経験してもらい、自分で考えた事を自分の手で生み出す楽しさを感じてもらおうワークショップを開催します。



開催日時: 第1回 12月16日(土) 13:00-17:00

第2回 12月17日(日) 13:00-17:00

参加資格: 小学校3年生から6年生まで

定員: 各回20名 申込期日: 12月13日(水)

企画・実施: あそび大学 (特定非営利活動法人Chance For All、一般社団法人SSK、Sekki Design Lab.、千葉大学環境デザイン研究室)
後援: 千代田区教育委員会

TALK SESSION トークセッション

アーティストやクリエイティブ×スタートアップのプレイヤーたちが、アートとイノベーションの関係を考え、共にシビック・クリエイティビティを探究するトークセッションを開催します。

参加無料 / 各回定員40名 事前申込不要・先着順

Anouk Wipprecht アーティストトーク <日英逐次通訳付>

日時 12月15日(金) 11:00-12:00

登壇者 Anouk Wipprecht (ハイテク・ファッションデザイナー)、小川秀明 (CCBTクリエイティブディレクター/アルスエレクトロニカ・フューチャーラボ共同代表)

最新のテクノロジーを融合させ、ファッションを単なる見かけを超えた体験にするAnouk Wipprechtが、本展に出展しているSCREENDRESSの制作背景やプロセス、仕組みなどについてお話しします。



Anouk Wipprecht

小川秀明

Ars Electronica Inspiration ギャラリーツアー <日英逐次通訳付>

日時 12月16日(土) 17:30-18:30

登壇者 久納鏡子 (アルスエレクトロニカ・アンバサダー)、Denise Hirtenfelder (アルスエレクトロニカ・フューチャーラボリサーチャー)

「Ars Electronica Inspiration」プランニングチームの久納鏡子とDenise Hirtenfelderが、皆さんと一緒にスペースを巡り、展示の見所や作品の魅力についてお話しします。



久納鏡子

Denise Hirtenfelder

ラウンドテーブル | 美大発スタートアップ企業の可能性

日時 12月19日(火) 19:00-20:30

登壇者 加藤晃央 (CEKAI共同代表)、ハヤカワ五味 (株式会社ウツワ代表取締役)、横石 崇 (&Co. 代表取締役 / Tokyo Work Design Weekオーガナイザー)

モデレーター 渡辺有紗 (スタートバーン株式会社執行役員)

企画・実施 スタートバーン株式会社

近年、美術大学出身者のスタートアップ起業に期待が高まる一方、そのプレイヤーがほとんど出てきていません。アーティストとしてのバックボーンがある起業家たちに、社会からはどのような期待が寄せられているのでしょうか? 「激レア」な美大出身のスタートアップ起業家たちが経験談を交えながら現状について考えます。

イノベーションを触発するアート

日時 12月20日(水) 17:30-19:00

登壇者 戸村朝子 (ソニーグループ株式会社コーポレートテクノロジー戦略部門コンテンツ技術&アライアンスグループ統括部長)、齋藤帆奈 (現代美術作家)、齋藤精一 (パノラマティクス主宰)、小川秀明 (CCBTクリエイティブディレクター/アルスエレクトロニカ・フューチャーラボ共同代表)

アートやテクノロジー、デザインで創造性を触発し、様々な化学反応を促すアーティストたちは、どのようにイノベーションを刺激しているのでしょうか。一方、ソーシャルイノベーションはアートにどのような影響をもたらしているのでしょうか。各分野の第一線で活躍する多彩なゲストとともに、アートとイノベーションの関係を探ります。

中里唯馬 アーティスト・クロストーク

日時 12月21日(木) 15:00-16:30

登壇者 中里唯馬 (ファッションデザイナー)、関山和秀 (Spiber株式会社取締役兼代表執行役)

モデレーター 久納鏡子 (アルスエレクトロニカ・アンバサダー)

YUIMA NAKAZATOの独自技術であるBiosmockingには、Spiber株式会社が開発した素材Brewed Protein™ が欠かせない存在です。出展アーティストの中里唯馬とSpiber株式会社代表の関山和秀が、二人の出会いからBiosmockingの開発秘話や失敗談、未来への展望まで、イノベーションの軌跡をお話します。

クリエイティブ×スタートアップの未来

日時 12月22日(金) 17:00-18:00

登壇者 懸谷直弓 (美術作家)、施井泰平 (スタートバーン株式会社代表取締役)

企画・実施 スタートバーン株式会社

アート・クリエイティブ領域にイノベーションを起こすために、スタートアップという手段を用いるということには大きな可能性があります。その一方で、このような活動が、スタートアップ・ビジネスに新しい刺激をもたらします。「TOKYO STARTUP GATEWAY2019」ファイナリストの懸谷直弓をゲストに招き、これまでの挑戦の過程や今後の展望などをうかがいます。

From Creativity to creativities: Lessons from the Pluriverse

<日英同時通訳付>

日時 12月22日(金) 19:00-20:30

登壇者 Betti Marenko (トランスディシプリナリー・セオリスト)

創造性を再考することで、現在の社会の混乱や激しい変化、不確実性に向き合えるのでしょうか。21世紀にはどのような創造性が必要とされるのでしょうか。本レクチャーでは、近年の西洋社会における創造性の歴史の事象をひもときながら、単数の「創造性」から、複数の、多角的、状況的で人類以外にも含めた創造性へとシフトすることの重要性を論じます。



加藤晃央

ハヤカワ五味



横石 崇

渡辺有紗



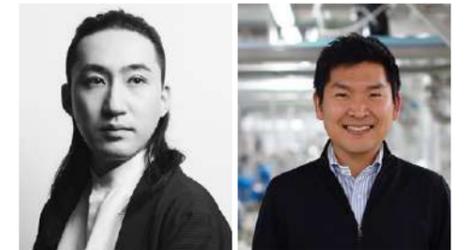
戸村朝子

齋藤帆奈



齋藤精一

小川秀明



中里唯馬

関山和秀



懸谷直弓

施井泰平



Betti Marenko

TOKYO FORWARD

TOKYO2020レガシー展



東京2020開会式等で実際に使用された資産や競技体験、記念撮影ができるフォトスポットもあります。ぜひお越し下さい。



メダル・ピクトリーブーケ・聖火リレートーチ

開催日時 第2期 2023年12月15日(金)→2024年3月10日(日)

会場 SusHi Tech Square 1F

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-8-3 (東京交通会館向かい)

入場
無料



大会で実際に使用された資産の展示

スポーツの素晴らしさ、持続可能性、多様性、被災地復興などのメッセージを大会を彩った品々を通してお伝えします。

大会招致決定から開催までの軌跡

ミライトワ・ソメイティ像、
聖火リレートーチなど
#教育 #被災地復興

ボランティア

ピンバッジなど
#参加・協働

選手村

休戦ムラールなど
#平和 #持続可能性

NEW!

ピクトグラム

東京2020大会のスポーツ
ピクトグラム紹介、開会式で
使用された小道具など
#バリアフリー

NEW!

開会式・閉会式

MISIAさん、森山未来さん、
シンド・カフカさんが着用した衣装など
#多様性

NEW!

表彰式

表彰状、メダル、ピクトリーブーケ、
乗れる表彰台など
#持続可能性 #被災地復興

TOKYO2020 レガシー展 アーカイブズ

TOKYO2020 レガシー展・
ステージプログラムの記録、
デジタルアーカイブ、各種
リーフレットなど

NEW!

競技・競技会場

選手のサイン入り競技備品、
触れるボール、自転車ロード
レースルートマーカーマップなど
#教育 #バリアフリー

体験コンテンツ 無料

デジタル技術を用いて、誰でも楽しめるオリンピック・パラリンピック競技体験コーナーや、体験型フォトスポットを設置します。

NEW!



e-スケートパーク

～スケートボードのトリックにチャレンジして
高得点を目指そう!～



サイバーボッチャ

～家族や友人と頭脳戦にチャレンジ～

NEW!



フォトスポット

～ミライトワ・ソメイティと一緒に写真撮影～

ステージイベント

アスリートをお迎えしてミライトワ・ソメイティと一緒にトークイベントも開催します。
詳細はスポーツTOKYOインフォメーション(ホームページ)をご確認ください。



- 【開催期間】2023年12月15日(金)～2024年3月10日(日)
- 【開館時間】火曜日～金曜日 11:00～21:00 (最終入場 20:30)
土曜日及び休日 10:00～19:00 (最終入場 18:30)
- 【休館日】毎週月曜日(ただし1月8日(月)、2月12日(月)は開館)
12月29日(金)～1月3日(水)は年末年始休館日
1月9日(火)、1月24日(水)、2月13日(火)
混雑時は入場制限を行う場合がございます。



スポーツTOKYOインフォメーション(HP)

会場:SusHi Tech Square 1F

東京都千代田区丸の内3-8-3(東京交通会館向かい)



- 【アクセス】JR山手線・京浜東北線 [有楽町駅] 下車 [京橋口] 徒歩1分
東京メトロ有楽町線 [有楽町駅] 下車 [D9出口] すぐ
東京メトロ有楽町線 [銀座一丁目駅] 下車 [1出口] 徒歩3分